

# ヤナギトラノオ

*Lysimachia thyrsiflora* L.  
サクラソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地局限

## 分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では敦賀市での記録がある。

## 種の特徴

冷涼な湿原に生える多年草。地下茎は長く這い、やわらかい茎を直立させる。茎は円柱形で高さ30～70cmになる。葉は対生、披針形で黒い腺点がある。6～7月、下部の葉腋から出た総状花序に花を密生する。花冠は黄色でふつう6深裂し、裂片は広線形。

## 生育を脅かす要因

水質等の生育環境の悪化、遷移進行、食害

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

# クサレダマ

*Lysimachia vulgaris* L. var. *davurica* (Ledeb.) R.Knuth  
サクラソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地が少ない。

## 分 布

北海道、本州、九州に分布。県内では若狭町、敦賀市、越前町、越前市、福井市、大野市での記録がある。

## 種の特徴

山中の湿地に生える多年草。横に這う地下茎から茎を直立し、高さ50～100cm、やや密に軟毛がはえる。葉は2～4枚が輪生または対生し、先は鋭く尖り、裏面に黒色の腺点がある。7～8月、茎の頂に円錐花序を付け、黄色い花を多数付ける。花冠は黄色く5裂する。

## 生育を脅かす要因

湿地開発、遷移進行、生育地へのシカの分布拡大による食害

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○	○					○				○	○

# ユキワリソウ

*Primula farinosa* L. subsp. *modesta* (Bisset et S.Moore) Pax var. *modesta* (Bisset et S.Moore) Makino ex T.Yamaz.  
サクラソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

奥越の亜高山の一部にのみ生育する。

## 分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市での記録がある。

## 種の特徴

山地の湿った岩場に生える多年草。葉は根生し、倒卵状長楕円形または倒卵形で、波状の鋸歯があり、裏面は白っぽく淡黄色の粉状物が密生する。初夏に7～15cmの花茎を伸ばし、先に3～15個の花を散状につける。花は淡紅色で径1～1.5cm。地域により変異が多い。

## 生育を脅かす要因

園芸採取、踏圧

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	